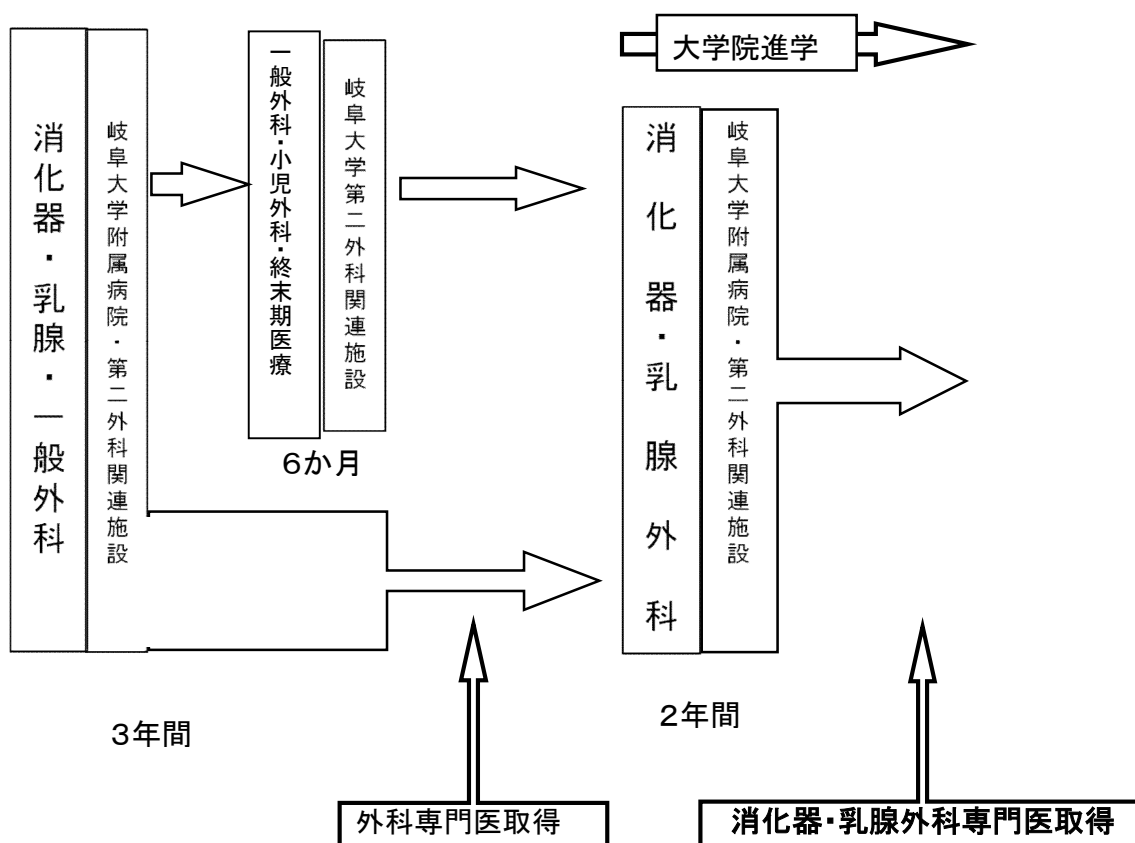


乳腺外科コース（第二外科）

（1）コースの全体像

本コースは2年間の卒後初期研修の修了者を対象とし、外科専門医修練カリキュラムに沿った3年間の後期研修は岐阜大学医学部附属病院を中心とした関連施設（外科学会および乳腺外科学会の指定修練施設）で行い、うち3カ月程度を胸部外科における経験期間とする。また同期間のうち希望に応じて6か月間を、地域医療に関連した広範囲な一般外科的経験、終末期医療に特化した研修あるいは小児外科領域の修練の時期にあてるものとし、日本外科学会専門医取得に必要な診療・手術経験のみならず広義の外科学への理解を促す。その後の2年間は主には乳腺外科学会専門医取得のための期間と位置づけ、手術件数の豊富な研修施設を主な勤務機関とした上で研修を継続するとともに、大学院への進学を考慮する。以上で乳腺疾患に対する専門的な立場からの集中的な経験、論文執筆の指導・機会、医学博士取得を目的とした方向性を明示することが可能となる。



(2) コースの概要

大学病院・ 医療機関名	診療科名	専門分野名	指導者数	目的	養成(受 入)人数	期 間
岐阜大学医学部 附属病院	第2外科	腫瘍外科	2名	外科後期研 修、外科・ 乳腺外科専 門医資格取 得	2名	5年
岐阜県総合医療 センター	外科	乳腺外科	2名	外科後期研 修、外科・ 乳腺外科専 門医資格取 得	5名	5年
岐阜市民病院	外科	乳腺外科	2名			
JA 岐阜厚生連 岐北厚生病院	外科	乳腺外科	4名			
JA 岐阜厚生連 揖斐厚生病院	外科	乳腺外科	4名			
高山赤十字病院	外科	一般外科	3名	外科後期研 修、外科専 門医資格取 得		1～2年
医療法人社団 志聖会 犬山中央病院	外科	一般外科	3名			
医療法人社団 誠広会 岐阜中央病院	外科	一般外科・ 終末期医療	3名			
市立恵那病院	外科	一般外科	2名			
国民健康保険 関ヶ原病院	外科	一般外科	2名			
下呂市立金山病院	外科	一般外科	2名			
独立行政法人国 立病院機構長良 医療センター	外科	小児外科	2名	外科専門医 資格取得		6か月

(3) コースの実績

取得可能な専門医・認定医は、外科専門医・指導医、日本乳がん外科学会乳腺認定医・専門医といった乳腺外科医としては必須かつ一般的な内容のみならず、マンモグラフィ一検診精度管理中央委員会読影認定など比較的高いものを含む。大学以外でも専門医取得に必要な症例の経験・業績の集積が可能な関連施設が豊富で、教育担当スタッフの配置も充実している。

(4) コースの指導状況

全ての外科系専門医を取得するためには外科専門医であることが必須条件であることを受け、胸部・消化器外科や一般外科などの広い分野での経験が必要であるが、本コースにおいて必要経験症例は十分満たされる。特に専門分野における知識および経験の供給が可能で指導状況としては極めて充実している。

(5) 専門医の取得等

学会等名	日本外科学会
資格名	外科専門医
資格要件	外科専門医：350例以上の手術手技を経験（うち120例以上は術者としての経験が必要）し、一定の資格認定試験を経て認定される。この専門医は消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科および小児外科、乳腺外科などの関連外科（サブスペシャリティ）専門医を取得する際に必要な基盤となる共通の資格である。なお広告できる医師の専門性に関する資格の一つとして、厚生労働省に認可されている（平成15年4月25日付）。
学会の連携等 乳癌学会専門医となるには、外科専門医である必要がある。	

学会等名	日本乳がん学会
資格名	乳腺外科専門医
資格要件	1. 日本国の医師免許を有すること。 2. 学会認定医制度協議会の定める基本的領域診療科の認定医または専門医であること。 3. 継続4年以上本会会員であること。 4. 臨床研修終了後、指定修練施設において所定の修練カリキュラムに従い、通算2年以上の修練を行っていること。 5. 乳腺疾患に関する業績を有すること。 さらに認定施設における100例以上の乳癌症例の診療経験があり、必

要な研究業績を有する場合に専門医として申請する。

学会の連携等

乳癌専門施設認定には、専門医の常勤が必須項目である。